

ご存知かと思いますが、

「製図試験を採点するのは人間」

です。

■ Drawing code 00 「作図力を味方に付けるべし」

毎年、何十枚、何百枚と受講生の仕上げた解答図面を添削して感じる事があります。見やすい図面やアピール力のある図面など、印象の良い図面というのは、そのプラン以上にこちら側に訴えるものがあります。

つまり、採点される上であきらかに有利な状況にあるという事です。

もう少し具体的にお話します。受講生の図面の中には惚れ惚れするような見事な図面から、そうでない図面までいろいろありますが、もし仮にプランが全く同じだとしたら、合格する可能性が高いのはどちらの図面だと思いますか？

この試験は、図面の印象だけで合否が決まる試験ではありません。当然設計条件が満たされたプランで提出すれば、よほどの事がない限り不合格になる事はないでしょう。でも、印象の良い図面というのは、なぜかプランさえもまとまったきれいなプランに感じてしまいます。反対に印象の悪い図面というのは、プランさえも悪く見えてしまうのです。

つまり、作図の良し悪しが答案図面全ての印象を大きく変えているという事になります。

これに関する意見は、私のみならず、私が今までお会いしてきた他の講師の方の考えも同じです。おそらく実際の試験の答案を採点する採点者も、同じ気持ちを持って採点しているに違いありません。

この二級建築士の二次試験は、一級の製図試験に比べ、プランニングではなく“製図の試験だ”という考えがあります。つまり、合格するポイントはエスキース同様作図にもあるという事です。

わかりやすいきれいな図面である事。そして作図時間を短くする事。すなわち作図力を高めるという事は、限られた時間内で行われるこの製図試験を征する上で、必要不可欠な条件になっています。

このテキストでは、作図の順序、表現方法などをわかりやすく解説しているのはもちろん、効率の良い作図法や速く描くためのコツ、そして時間が無い場合に使いたい、必要最小表現方法など、随所に作図テクニックの上達する方法が納められています。これから製図の学習を始めるみなさんの強い味方になってくれる事と思います。

最端製図.com 神無 修二

■ 設計製図試験における作図のポイント ■

- 1、きれいに、そして丁寧に描く事（印象が大事）
- 2、アピールする事（見る人に伝えるという事）
- 3、正確に表現する事（曖昧さは減点につながる）
- 4、メリハリをつける事（線種を使い分ける）
- 5、文字を丁寧に書く事（文字ひとつで印象が変わる）
- 6、手順を確立する事（考えている時間はありません）
- 7、時間短縮を図る事（パーツは覚えよう）
- 8、自分の作図スピード（作図時間）を把握する事
- 9、使いやすい・使い慣れた道具を使う事

以上が作図をする上での注意したいポイントです。

次のページよりこのポイントについて詳しく解説したいと思います。

作図に自信がもてれば
プランも落ち着いて
できるのだ



最端一期生
かんたん

きれいな図面を
速く描くという事は、
この試験を征する為に
絶対的に有利なんだよ

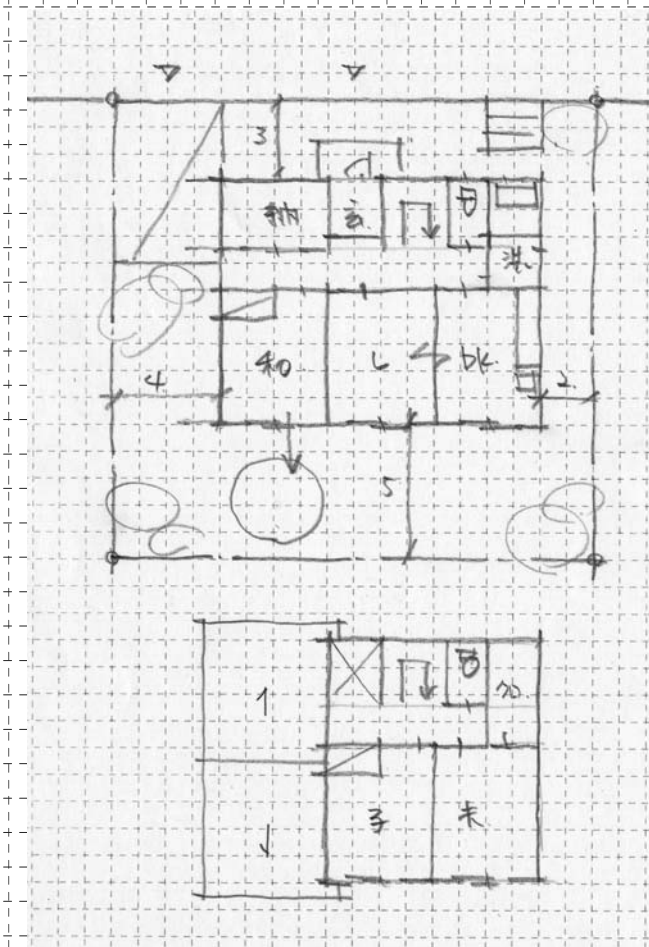
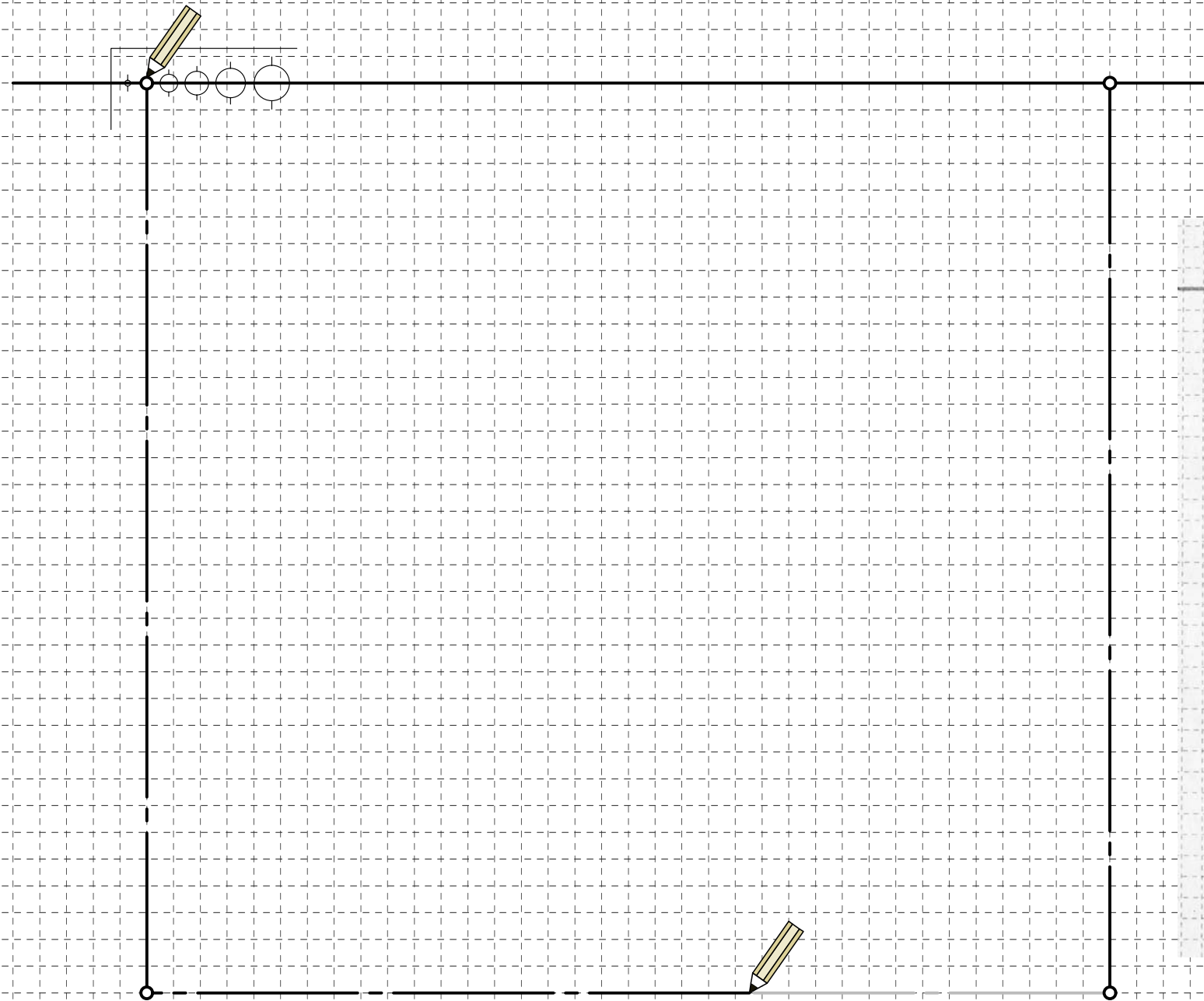


最端一期生
さいたん

■ 平面図の描き方

- 解答用紙にはあらかじめ敷地図が描かれてあります。その敷地図を上からなぞります。

四隅の○はテンプレートを使用しましょう。



エスキースケッチはこの程度です。

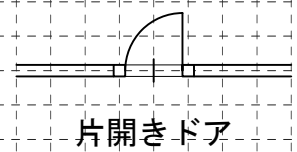
柱の位置や窓の位置
住宅設備のレイアウト
などは描きながら考える
事が出来るようになって
きます。

また、作図時間を短縮
する為にも、細かい所
は描きながら考える事
ができるようになるう

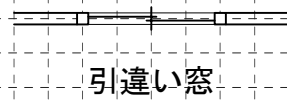
drawing code 01

描き始める前に、
プランニングの最終チェックを忘れるべからず。

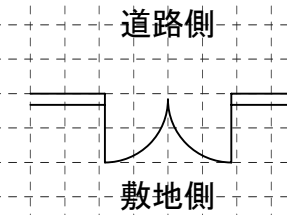
■ 平面図の描き方 》 建具の表現 《



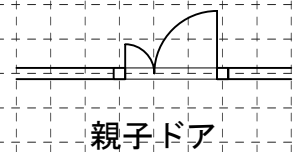
□ 外壁に用いるドアの描き方
 ドアは主に玄関扉、もしくは勝手口などの扉に用います。



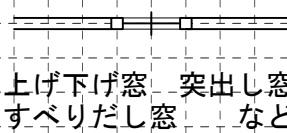
□ 外壁に用いる窓の描き方
 枠の線をきちんと描くようにして下さい。



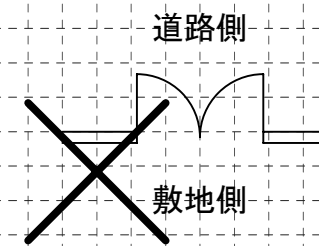
□ 門扉の描き方
 敷地内に設ける門扉は道路に出てはいけません。必ず敷地側に開くように設けて下さい。



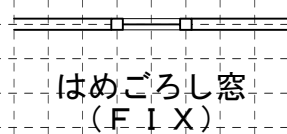
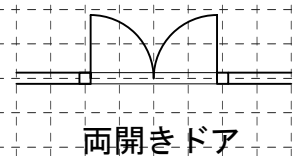
住宅の玄関や店舗など不特定の人が利用する出入口は有効寸法を広く確保したいため、親子ドアや両開きドアを使用します。



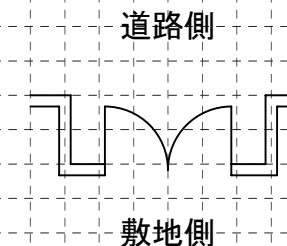
主に小さい部屋に用います。



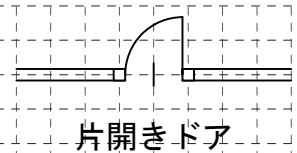
このようにしてしまうと減点を受けます。



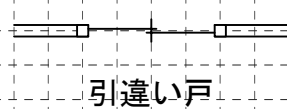
FIXとは開かない窓です。



1m程控えて、外開きにする事は理想ですが、作図に時間がかかります。



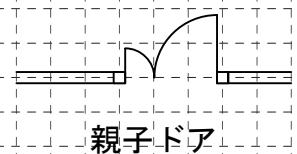
□ 建物内部に用いるドア
 下枠の線は必要ありません。



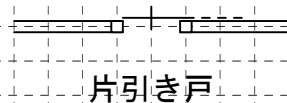
□ 建物内部に用いる戸
 主に障子や襖などに用います。



道路境界線と建物の距離が狭くなった場合は引き戸でも構いません。

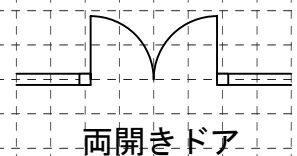


片開きドアは部屋の種類によって大きさを使い分けたいところですが、この試験においては厳密に表現する必要はありません。(便所などは洋室のドアよりも狭く計画するのが一般的ですが、同じで構いません。)

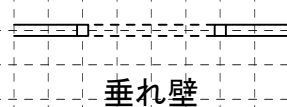


扉と引違い戸、引き戸などはどれを選択しても構いません。洋室では少しおかしく感じるかも知れませんが、減点になる事はありません。

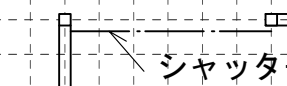
バリアフリーの観点からすると扉よりも引違い戸や引き戸の方が好ましいです。



住宅でもリビングくらいは親子ドアを採用してもいいでしょう。
 ※親子ドアは大きな荷物を搬入する場合に小さい方の扉を開け有効内法寸法を大きくします。

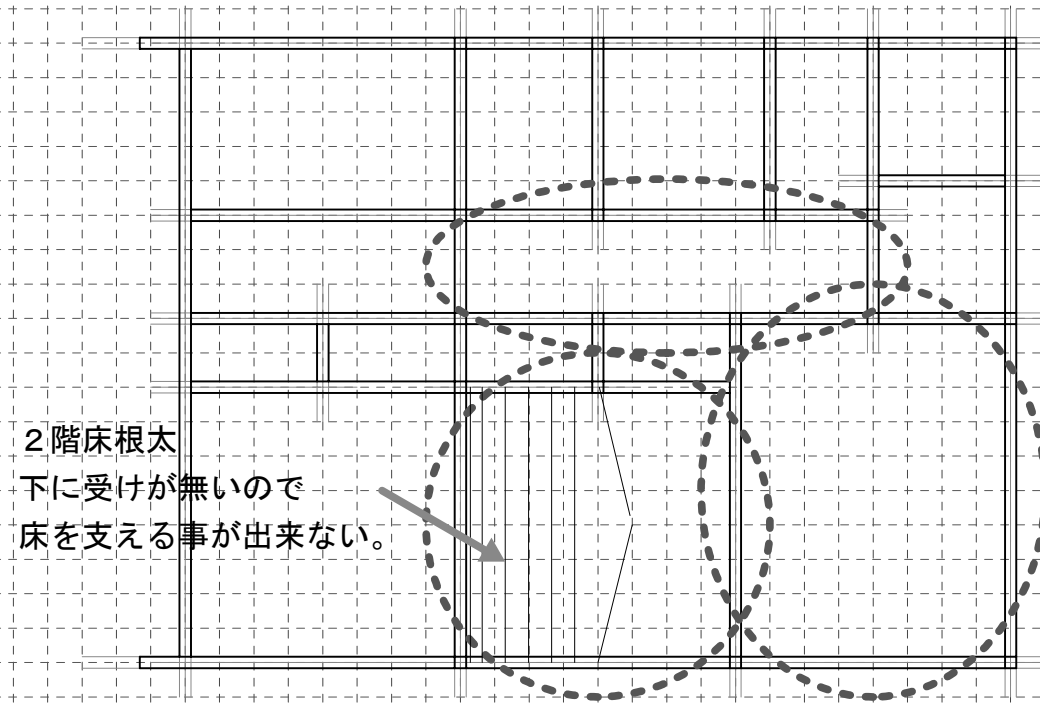


垂れ壁は建具の無い開口部分を表現します。

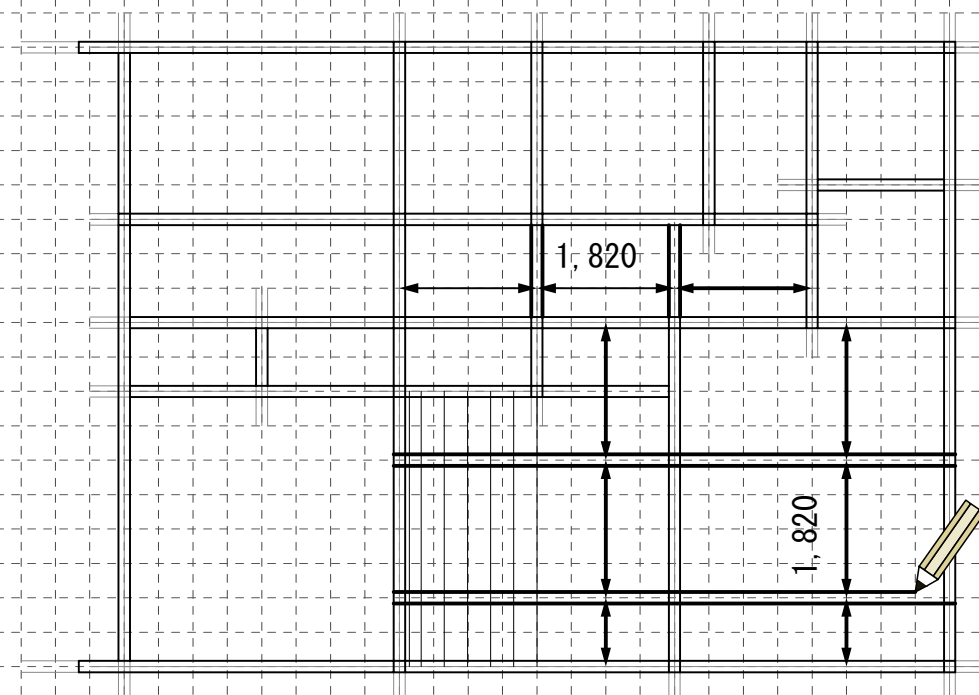


□ その他
 車庫(屋内駐車場)などの入り口はシャッターで計画します。シャッターと明記するとアピールになります。

■ 2階床伏図兼1階小屋伏図の描き方



この丸の部分が広すぎるので
根太を受ける横架材（床梁）が必要



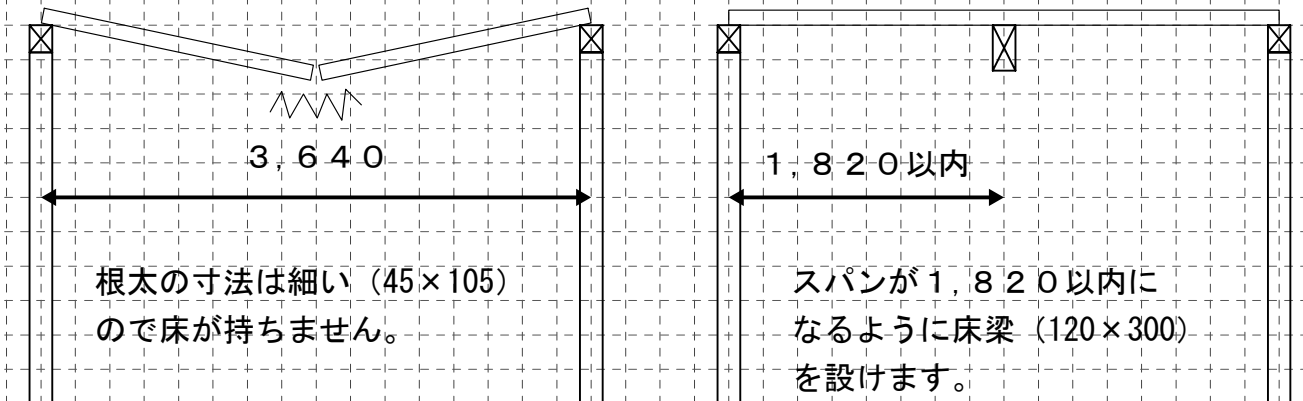
根太の配置は床梁に対して直角方向
(要求が無ければ記入は不要です。)

□ 2階床梁を考えます。

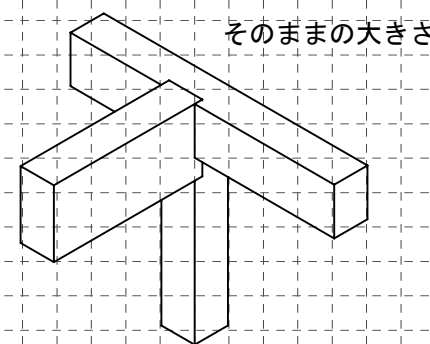
床板の下には根太が入りますが、その根太を受けるためには1,820mm以内に梁が必要になります。
(断面寸法は30ページ参照 2階壁が無い場合の表)

この床梁の入れる方向は決まっていますが、原則的には梁が短くなるように短辺方向に入れます。

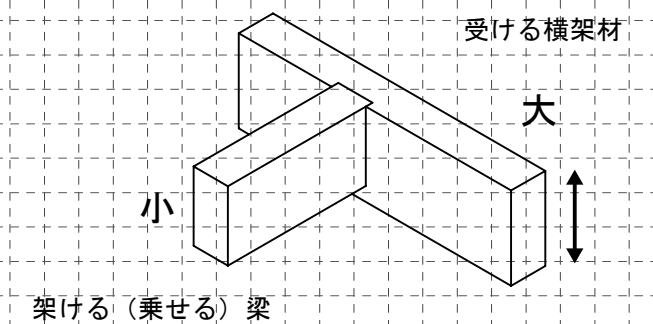
本来は@303mmごとに根太が配置されますが、作図要求がなければ記入は不要です。
(通常は要求されません)



床梁は途中で下から支える1階の柱がありません。つまり両端のみで支えられる事になります。そして、その端部ですが、柱があれば問題はないのですが、柱が無い場合は他の横架材に架ける事になりますが、その時の寸法に注意が必要です。
小さい部材に大きなものを架ける事はできません。

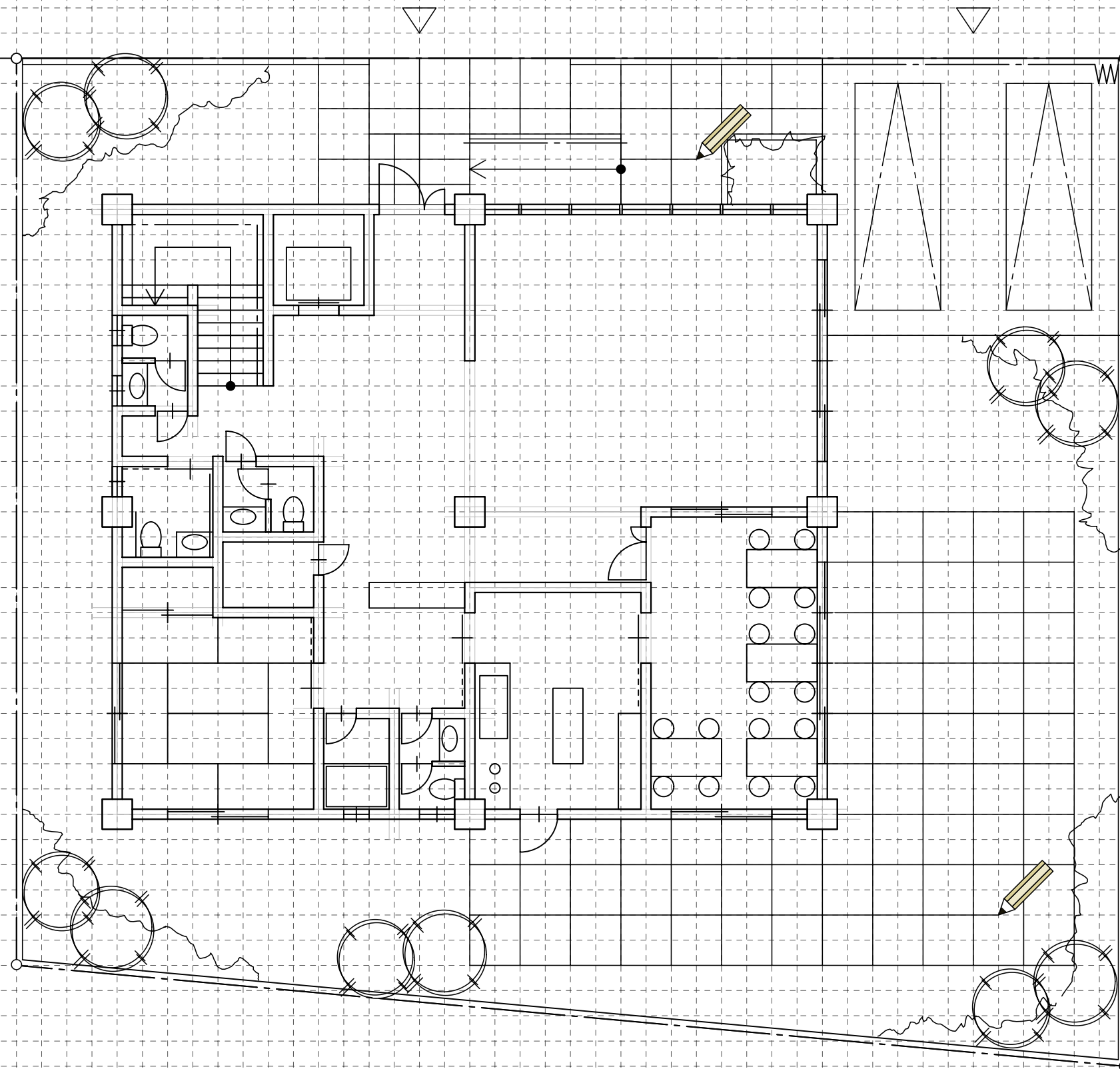


下に柱がある場合は、柱に荷重をかける事が
出来るので、受ける梁の寸法はそのまま。

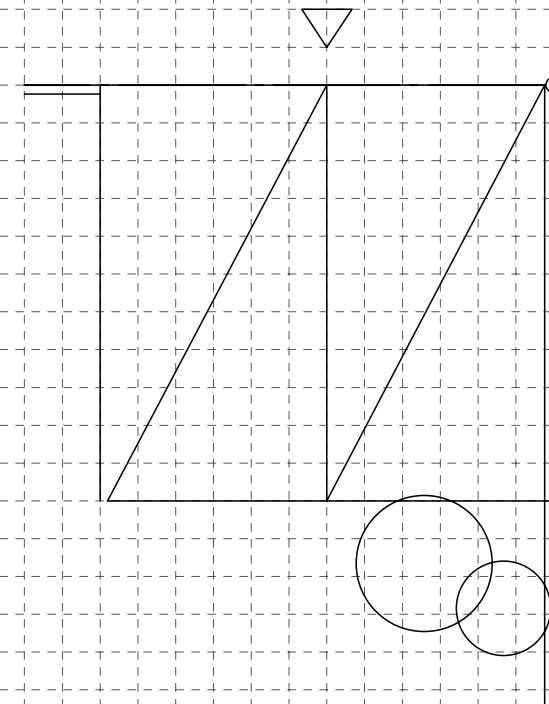


別の横架材に床梁をかける場合、
受ける側の材を大きくします。

■ 平面図の書き方 (RC ラーメン構造編)



- 外構を描いていきます
- アプローチ部 (ポーチ スロープ 門扉など)
- 駐車場
- テラス
- 植栽
- フェンス など



時間が無い場合の最小限表現方法です。
 これでも一応減点にはなりません。
 ただし、時間があるときはしっかり描く事。